

### ■欧州：EU-ETS 対象設備からの CO2 排出量、2017 年は 7 年ぶりに増加

2018 年 4 月 3 日の専門誌によると、2017 年の EU-ETS（EU・CO2 排出権取引制度）の対象となる施設からの温室効果ガス排出量の速報値が公表され、2016 年比で 0.8%増加したことが明らかとなった。EU-ETS では、発電所や工場に加えて EU 域内で発着する航空機からの CO2 排出量を対象としており、2017 年は産業部門、航空機ともに増加した。2017 年の EU の GDP が前年比で 2.5%拡大したため、各産業部門の排出量も増えており、石油／ガス精製部門を除くほぼすべての部門（石油化学、パルプ&紙、セメントなど）で 2～3%増加した。発電所や熱供給部門では前年とほぼ同じレベル（+0.1%）の 11 億 4,000 万 tCO<sub>2</sub>であった。国別には渾水のため火力発電の割合が高まったスペイン、ポルトガルの増加量が多く、それぞれ 10.3%、18.3%増加し、排出量の大きいドイツ、英国の増加率は 3.3%、3.9%であった。なお、EU-ETS の排出権価格は昨年末に 2020 年以降のルールに合意した後上昇傾向にあるが、3 日の発表後は 13.15 ユーロとなった。